

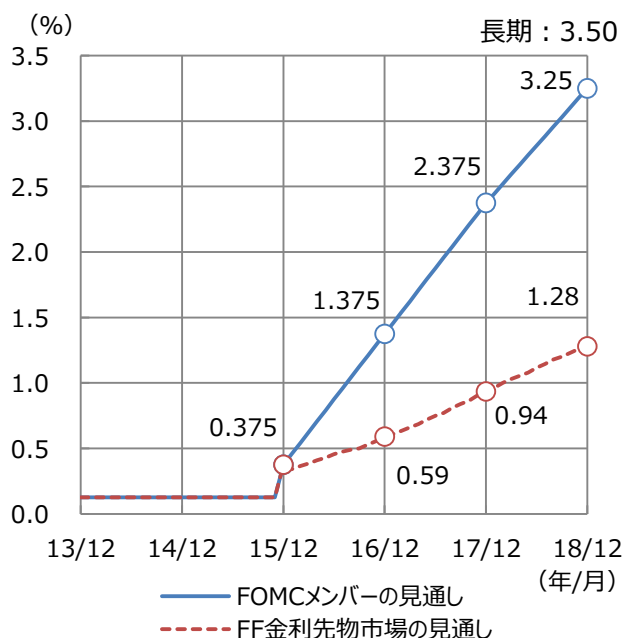
Q 米利上げ、2016年のペースは？

A FRBは世界経済と金融情勢を注視しており、3月の利上げを見送りそうです。ただ緩やかな利上げ方針は維持されており、年内は2回の利上げを予想します。

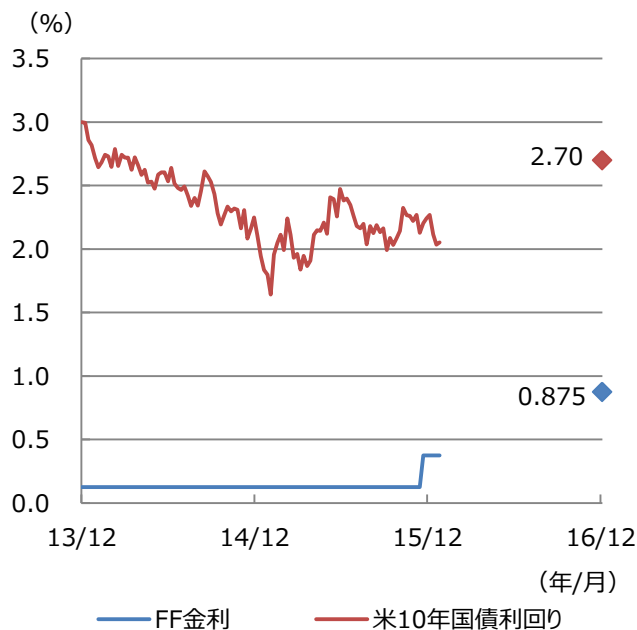
■米連邦準備制度理事会（FRB）は1月26日、27日の連邦公開市場委員会（FOMC）において、世界経済と金融情勢を注視し、それらが労働市場などに与える影響を精査するとした一方、緩やかな利上げ方針を維持すると改めて表明しました。

■足元の金融市場の混乱度合いを勘案すれば、次回3月の会合での利上げは難しいと思われます。フェデラルファンド（FF）金利先物市場が織り込む年内の利上げ回数はせいぜい1回ですが、米経済の底堅い成長を背景に、利上げは年内2回行われると予想します。

【図表1：FOMCメンバーと市場のFF金利見通し】



【図表2：FF金利と米10年国債利回りの見通し】



(注) 図表1のデータ期間は2013年12月から2018年12月。米連邦公開市場委員会（FOMC）メンバーの見通しは、2015年末、2016年末、2017年末、2018年末における適切なフェデラルファンド（FF）金利誘導目標の水準に関する2015年12月時点の予想中央値を期間按分して結んだもの。FF金利先物市場の見通しは2016年1月28日時点の各限月の価格から算出した利回りを結んだもの。図表2のデータ期間について、2013年12月27日から2016年1月22日までは実績値で、2016年12月末の値は2016年1月18日時点における三井住友アセットマネジメントの見通し。

(出所) FRBの資料やBloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。